

2008年度 中間連結決算 ご説明資料

2008年10月29日
新日鐵化学株式会社
TEL : 03-5207-7600

1. 2008年度中間決算概況

(1) 連結損益状況 (億円)

	2007 中間	2008 中間	差異
売上高	1,493	1,370	×123
営業利益	144	80	×64
経常利益	147	84	×63
特別損益	▲5	▲1	○4
法人税、税効果等	▲62	▲40	○22
少数株主損益	▲12	▲14	×2
当期純利益	68	29	×39

ROS(経常利益/売上高)	9.8%	6.1%	×3.7%
---------------	------	------	-------

	2008.3末	2008.9末	増減
有利子負債	341	286	▽55

当上期のわが国経済は、原油価格高騰の長期化、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱等により、輸出や民間設備投資が減少し、企業収益にも減速感が強まりました。こうした状況の下、当社は、コールドケミカル事業が世界的な鉄鋼生産の拡大等により製品需要が堅調に推移し、前年度同期並の利益を確保しましたが、化学品事業では原油・ナフサ価格や燃料価格の高騰により、大幅な減益となりました。

当上期の営業成績については、売上高は1,370億円(前年度同期比▲123億円、▲8%)、経常利益は84億円(同▲63億円、▲43%)となりました。昨年7月の君津コークス事業の新日本製鐵への統合の影響を除くと、実質的には増収減益となっております。

(2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

		2007 中間	2008 中間	差異	主要製品
コールドケミカル	売上高	約450	約310	約×140	ピッチコークス、ピッチ、95%ナフタリン、無水フタル酸 カーボンブラック、特殊炭素製品 製鉄用ガス
	経常利益	約70	約70	～	
化学品	売上高	約810	約800	約×10	芳香族、スチレンモノマー、ビスフェノールA、機能性化学品等
	経常利益	約70	～	約×70	
回路基板材料 ・機能樹脂	売上高	約230	約260	約○30	2層CCL(エスパネックス)、HDDヘッドシールド材料 LCDカラーフィルター用レジスト、有機EL材料、半導体実装材料 MS、ABS、エポキシ樹脂
	経常利益	～	約10	約○10	
連結計	売上高	1,493	1,370	×123	
	経常利益	147	84	×63	

(3) 連結キャッシュ・フロー (億円)

	2007 中間	2008 中間	2007 年度
現金・現金同等物の期首残高	21	25	21
経常利益	(147)	(84)	(231)
税金等調整前当期純利益	142	83	224
減価償却費	49	45	94
売上債権・仕入債務増減他	△48	△3	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー A	143	125	172
固定資産取得	△27	△35	△54
固定資産・投資有価証券売却他	84	0	89
投資活動によるキャッシュ・フロー B	57	△35	35
借入金返済	△188	△55	△193
配当	△9	△29	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197	△85	△202
範囲変更/換算差額	0	0	△1
現金・現金同等物の期末残高	24	30	25
フリーキャッシュフロー A+B	200	90	207

(4) 経済指標・製品市況他

	2007年度実績			2008年度見通		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替 (円/\$)	119	110	115	106	100	103
原油 (\$/BBL)	67.7	87.2	77.5	119.2	70.0	94.6
ナフサ (\$/BBL)	75.5	89.9	82.7	114.5	66.0	90.3
国産ナフサ (千円/kL)	58.7	64.2	61.5	78.2	44.0	61.1
SM台湾CIF (\$/t)	1,360	1,360	1,360	1,530	900	1,215
BPA中国CIF (\$/t)	1,950	1,890	1,920	1,870	1,400	1,635

	2007年度実績		2008年度見通	
	2007 中間	2007 年度	2008 中間	2008 年度
設備投資額	20	47	38	75
減価償却費	49	94	45	95
研究開発費	24	48	21	50
金融収支(負担金利)	△3	△5	△2	△4

* いずれも連結ベース

(5) 資産／負債状況

(億円)

科目	2008.9末	2008.3末	増減	科目	2008.9末	2008.3末	増減
流動資産	944	874	70	流動負債	919	820	99
内、現金預金	30	24	6	内、支払手形・買掛金・未払費用	555	484	71
受取手形・売掛金	499	480	19	短期借入金	259	250	9
棚卸資産	276	234	42	固定負債	157	221	-64
繰延税金資産	11	9	2	内、長期借入金	27	91	-64
その他	128	127	1	退職給付引当金	104	104	0
固定資産	914	947	-33	繰延税金負債	15	15	0
内、有形固定資産	559	571	-12	負債計	1,076	1,041	35
無形固定資産	1	2	-1	株主資本	694	685	9
投資その他の資産	354	374	-20	内、資本金	50	50	0
(投資有価証券)	(184)	(192)	(-8)	資本準備金	83	83	0
(繰延税金資産)	(114)	(126)	(-12)	利益剰余金	561	552	9
(その他)	(56)	(56)	(0)	評価・換算差額	22	33	-11
資産合計	1,858	1,821	37	少数株主持分	66	62	4
				純資産計	782	780	2
				負債純資産合計	1,858	1,821	37
				有利子負債 合計	286	341	-55
				自己資本	716	718	-2
				D/E比率	0.40倍	0.48倍	
				自己資本比率	38.5%	39.4%	

2. 2008年度見通し

下期は、金融市場の混乱が長引くことにより、実体経済は日々悪化の度合いを強め、一段と厳しい経営環境となることが懸念されます。通期の連結経常利益は、年度当初見通し対比30億円減の170億円に止まる見通しです。かかる事業環境においても、「安定と成長」を目指し基盤事業の強化を図るとともに、新分野への経営資源投入を進めております。

(1) 連結損益状況

(億円)

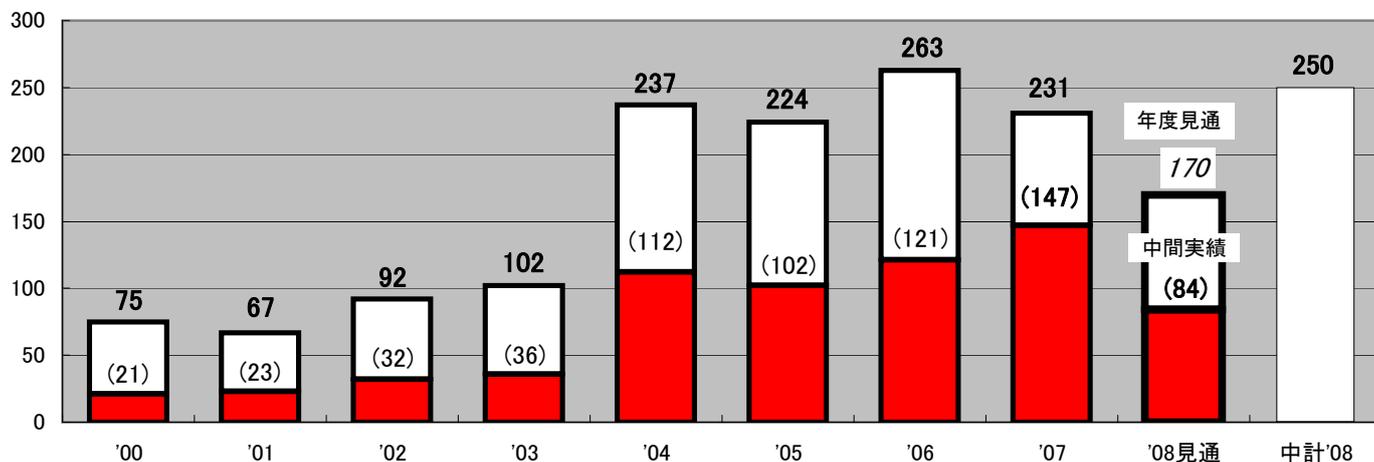
(2) セグメント別売上高・経常利益

(億円)

	2007年度実績	2008年度見通	前回見通	中計 2008	2007年度実績		2008年度見通		前回見通 経常利益	
					売上高	経常利益	売上高	経常利益		
売上高	2,888	2,700	2,800	2,900	約750	約130	約650	約120	約120	
経常利益	231	170	200	250	約1,660	約100	約1,500	約20	約60	
ROS	8.0%	約6%	約7%	9%	約470	~	約550	約20	約20	
有利子負債	341	280	280	400	連結計	2,888	231	2,700	170	200
自己資本比率	39.4%	40%超	40%超	42%						
D/E比率	0.48倍	0.37倍	0.35倍	0.5倍						

<連結経常利益の推移> □ 年度 (■ 中間)

(億円)



2008 年度上期の概要について

1. コールケミカル事業

コールケミカル事業については、世界的な景気停滞感が強まりつつも、ニードルコークス、ピッチ、カーボンブラックオイル等の主力製品の需要は堅調に推移しました。また、アジア・中東地域での旺盛な需要が続いたことにより、95%ナフタリン、無水フタル酸の市況も堅調に推移しました。特殊炭素製品は、太陽電池向け需要が伸びており、需要地である中国に加工拠点を設立し、加工設備の建設を進めています(08 年内完工予定)。

この結果、コールケミカル事業は前年度同期並の利益となりました。引続き、旺盛な需要に応えるべく生産能力増強*を進めるとともに、原燃料価格の高騰に見合った製品価格の改善を図っていく考えです。

* コールタール蒸留 (シーケム、年 80→90 万 t、2008 年夏完工)

ニードルコークス (シーケム九州、年 10→12 万 t、2009 年秋完工予定)

ピッチ (シーケム広畑、年 6→8 万 t、2008 年夏完工)

特殊炭素製品 (新日本テクノカーボン、年 6→8 千 t、2008 年末完工予定)

2. 化学品事業

化学品事業については、原油・ナフサ価格が最高値を更新する中、アジア域内での芳香族製品生産設備の新設・能力増強や北京オリンピック期間前からの中国でのスチレンモノマー需要減少の影響もあり、製品市況は弱含みで推移しました。この結果、前年度同期に比べ原料―製品スプレッドは大幅に縮小し、損益も大幅に悪化しております。

夏以降、原油・ナフサ価格の急落により製品市況が混乱しており、化学品製品の採算改善の見通しが立て難い状況となっています。当社では、原燃料・製品市況に応じた最適な設備稼働を目指しており、7 月以降、大分芳香族/スチレンモノマー、戸畑ビスフェノールの製造設備で減産を実施しております。

3. 回路基板材料事業・機能樹脂事業

回路基板材料事業については、全世界の携帯電話需要が BRICs を中心に前年度同期比 1 割程度伸びており、当社も 2 層 CCL「エスパネックス」の製造能力(年 850 万 m²)を活かし、製造・販売・研究が一体となり日系の FPC メーカーを中心に拡販に努めた結果、前年度同期比で販売増となりました。金融市場の混乱を端緒とし、实体经济の悪化が懸念されますが、需要動向を的確に捉え、拡販に努める考えです。

機能樹脂事業については、液晶カラーフィルター用ブラックマトリックスやノンハロゲン等の特殊エポキシ樹脂の拡販を進めてまいりました。また、有機―無機共重合体「シルプラス」の営業運転開始(09 年 4 月予定)を控え、携帯電話前面板向け等の用途についてユーザーの認定取得を進めております。有機 EL 材料も、当社が開発した低分子燐光ホスト材料をもとに、内外の研究機関等との連携によりオール燐光材料の開発を加速し、有機 EL デバイスの早期実現を目指しております。

(財)財務会計基準機構会員)



'08年度 中間連結決算概要

1. 損益状況

(単位: 億円)

	07中間	08中間	増減	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
売上高	1,493	1,370	△123	3,187	2,888	2,700
営業利益	144	80	△64	265	238	170
経常利益	147	84	△63	263	231	170
当期純利益	68	29	△39	113	106	N.A
ROS(売上高経常利益率)	9.8%	6.1%		8.3%	8.0%	6.3%

2. セグメント別売上高

	07中間	08中間	増減	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
コールケミカル	450	310	△140	1,140	750	650
化学品	810	800	△10	1,530	1,660	1,500
回路基板材料・機能樹脂	230	260	30	510	470	550
合計	1,493	1,370	△123	3,187	2,888	2,700

3. 貸借対照表

	07中間	08中間	増減	06年度 (H18)	07年度 (H19)
流動資産	866	944	78	957	874
有形固定資産	595	559	△36	808	571
無形固定資産	0	1	1		2
投資等	402	354	△48	438	374
資産計	1,863	1,858	△5	2,203	1,821
有利子負債	347	286	△61	634	341
その他負債	767	790	23	890	700
少数株主持分	52	66	14	48	62
自己資本	697	716	19	631	718
負債純資産計	1,863	1,858	△5	2,203	1,821
自己資本比率	37.4%	38.5%		28.6%	39.4%

4. キャッシュ・フロー

	07中間	08中間	増減	06年度 (H18)	07年度 (H19)
営業キャッシュ・フロー	143	125	△18	238	172
投資キャッシュ・フロー	57	△35	△92	△30	35
(フリーキャッシュ・フロー)	200	90	△110	208	207
財務キャッシュ・フロー	△197	△85	112	△212	△202
その他			0		△1
現預金等増減	3	5	2	△4	4

5. 主要指標

		07中間	08中間	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
設備投資額	億円	20	38	46	47	75
減価償却費	億円	49	45	107	94	95
研究開発費	億円	24	21	48	48	50
金融収支(負担金利)	億円	△3	△2	△7	△5	△4
期末有利子負債残高	億円	347	286	634	341	280
(" 対前期増減)		(△287)	(△55)	(634)	(△293)	(△6)
為替レート	円/US\$	119.4	105.5	117.0	115.0	103.0
国産ナフサ価格	千円/KL	58.7	78.2	50.0	61.5	下期 44.0

注) 設備投資額は、有形・無形固定資産増減(建設仮勘定編入)ベース。
研究開発費は、費用算入ベース。

連結中間財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (08. 9. 30現在)	前 期 (08. 3. 31現在)	前年中間期 (07. 9. 30現在)	科 目	当中間期 (08. 9. 30現在)	前 期 (08. 3. 31現在)	前年中間期 (07. 9. 30現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	94,427	87,422	86,638	流動負債	91,870	82,059	88,560
現金及び預金	2,972	2,428	2,133	支払手形及び買掛金	46,959	40,721	44,547
受取手形及び売掛金	49,949	48,016	45,029	短期借入金	25,923	25,017	25,091
たな卸資産	27,648	23,454	21,969	未払費用	8,606	7,696	8,360
その他	13,873	13,532	17,553	その他	10,379	8,624	10,561
貸倒引当金	(-) 15	(-) 9	(-) 47				
固定資産	91,385	94,720	99,735	固定負債	15,719	22,067	22,856
有形固定資産	55,923	57,143	59,468	長期借入金	2,687	9,118	9,559
建物及び構築物	18,235	18,435	18,753	再評価に係る繰延税金負債	1,531	1,532	1,532
機械装置及び運搬具	18,944	19,911	21,458	退職給付引当金	10,395	10,434	10,667
土地	16,499	16,659	17,062	その他	1,104	983	1,097
その他	2,244	2,137	2,192	負債合計	107,589	104,127	111,417
無形固定資産	53	231	25	(純資産の部)			
投資その他の資産	35,408	37,345	40,241	資本金	5,000	5,000	5,000
投資有価証券	18,381	19,228	20,683	資本剰余金	8,284	8,284	8,284
繰延税金資産	11,350	12,625	13,349	利益剰余金	56,149	55,242	51,497
その他	6,376	6,304	7,045	株主資本合計	69,434	68,527	64,782
貸倒引当金	(-) 700	(-) 814	(-) 837	その他有価証券評価差額金	1,303	1,381	2,320
				土地再評価差額金	2,296	2,297	2,297
				為替換算調整勘定	△1,436	△394	356
				評価・換算差額等合計	2,163	3,284	4,974
				少数株主持分	6,627	6,205	5,199
				純資産合計	78,224	78,016	74,956
資産合計	185,813	182,143	186,373	負債純資産合計	185,813	182,143	186,373

(自己資本) (71,596) (71,811) (69,756)

中間連結損益計算書及び連結剰余金計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (08.4.1~08.9.30)		前年中間期 (07.4.1~07.9.30)		前 期 (07.4.1~08.3.31)	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
売 上 高	136,963	100.0	149,395	100.0	288,888	100.0
売 上 原 価	118,628		124,442		244,077	
売 上 総 利 益	18,335		24,953	16.4	44,811	15.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,270		10,508		20,960	
営 業 利 益	8,063	5.9	14,445	9.7	23,849	8.3
受 取 利 息	21		35		61	
受 取 配 当 金	159		149		287	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	370		717		1,360	
為 替 差 益	530		—		—	
そ の 他	322		515		1,002	
営 業 外 収 益	1,404		1,417		2,711	
支 払 利 息	194		307		524	
為 替 差 損	—		333		1,968	
そ の 他	908		520		955	
営 業 外 費 用	1,102		1,160		3,448	
営 業 外 損 益	302		256		△737	
経 常 利 益	8,366	6.1	14,701	9.8	23,111	8.0
固 定 資 産 売 却 益	—		—		142	
特 別 利 益	—		—		142	
固 定 資 産 売 却 損 失	114		527		796	
投 資 有 価 証 券 売 却 損 失 等	13		—		43	
特 別 損 失	127		527		840	
特 別 損 益	△127		△527		△698	
税金等調整前中間(当期)純利益	8,238	6.0	14,174	9.5	22,413	7.8
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,893		2,637		4,909	
法 人 税 等 調 整 額	1,071		3,460		4,531	
少 数 株 主 利 益	△1,366		△1,237		△2,389	
中 間 (当 期) 純 利 益	2,906	2.1	6,838	4.6	10,583	3.7

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (08.4.1~08.9.30)	前年中間期 (07.4.1~07.9.30)	前 期 (07.4.1~08.3.31)
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	8,284	8,284	8,284
資 本 剰 余 金 期 末 残 高	8,284	8,284	8,284
(利益剰余金の部)			
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	55,242	45,198	45,198
中 間 (当 期) 純 利 益	2,906	6,838	10,583
土地再評価差額金取崩による増加	1	—	—
利 益 剰 余 金 増 加 高	2,907	6,838	10,583
土地再評価差額金取崩による減少	—	△539	△539
支払配当金	△2,000	—	—
利 益 剰 余 金 減 少 高	△2,000	△539	△539
利益剰余金中間期末(期末)残高	56,149	51,497	55,242

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前年中間期	前 期
	(08. 4. 1～08. 9. 30)	(07. 4. 1～07. 9. 30)	(07. 4. 1～08. 3. 31)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前当期純利益	8,238	14,174	22,413
2. 減価償却費	4,464	4,948	9,406
3. 受取利息及び受取配当金	△ 180	△ 184	△ 348
4. 支払利息	194	307	524
5. 持分法による投資利益	△ 370	△ 717	△ 1,360
6. 固定資産売却損失	—	—	654
7. 売上債権、仕入債務の増減額	3,549	86	△ 6,812
8. たな卸資産の増減額	△ 5,444	260	△ 1,225
9. その他	4,201	△ 976	△ 5
小 計	14,651	17,897	23,247
10. 利息及び配当金の受取額	268	221	694
11. 利息の支払額	△ 211	△ 369	△ 571
12. 法人税等の支払額	△ 2,184	△ 3,489	△ 6,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,524	14,259	17,205
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産等の取得による支出	△ 3,464	△ 2,697	△ 5,439
2. 有形固定資産等の売却による収入	88	379	910
3. コークス事業譲渡による収入	—	8,152	8,152
4. 投資有価証券等の売却による収入	49	8	8
5. その他の資産増減額	△ 209	△ 153	△ 140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,536	5,688	3,491
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 借入金の借入、返済による収支	△ 5,524	△ 18,809	△ 19,324
2. 配当金の支払額	△ 2,000	—	—
3. 少数株主への配当金の支払額	△ 943	△ 915	△ 915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,467	△ 19,724	△ 20,239
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 28	13	△ 105
V. 現金及び現金同等物の増減額	491	238	351
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,480	2,128	2,128
VII. 連結子会社の範囲変更による増減額	△ 0	—	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,971	2,366	2,480